

No.7

下野市立石橋中学校



校長室だより

目指す学校像

～生徒も先生も、自ら輝く学校～
「明るい学校」「温かい学校」「安心安全な学校」
平成30年10月19日（金）
発行者 坂口 修

○平成30年度後期始まる

10月9日（火）から、後期がスタートしました。後期が始まり2週間が過ぎました。生徒たちは、輝石祭に向けて、準備や合唱の練習などに取り組んでいます。

さて、後期を迎えるにあたり、全校生徒に次の2つのことを話しました。

○**1つめ**は、アトリウムに「夢は できなく 根は深く」と書かれたものがありました。この言葉は、みなさんも知っていると思いますが、足利市出身の詩人・書家である「相田みつを」さんの言葉です。この言葉の意味は、大きな夢を実現させるためには、見えない根っこが大切だということです。つまり、「夢」が大きくなればなるほど、それを支える「根」は、深くなければなりません。いくら大きな夢を持っていても、「根」がしっかりしていなければ、倒れてしまいます。みなさんは、今、その「根」を深く地面に張っている最中です。そして「根」をしっかりとはるためには、何が大切でしょうか。それは、心を磨くこと、知識を得ること、そして健康な身体です。

- ・心を磨くとは、強い心、優しい心、相手を思いやる心
- ・知識を得るということは、日々の学習、様々な経験や体験をすること
- ・健康な身体とは、自分の身体を自己管理すること

「心」も「知識」も「健康な身体」も、どれ一つ欠けても、立派な花は咲きません。

これからの季節、勉強をするにも、部活動をするにも集中してできる季節です。是非、みなさんも「根」を深く張るために、心を磨き、知識を得、そして健康な身体をつくっていきましょう。これからの半年間は、次年度へ向けての準備期間です。一人一人しっかりと目標を持ち、充実した学校生活を送って欲しいと思います。

○**2つめ**は、地区大会や県大会の応援に行き感じてしたことについて話したいと思います。

大会で勝ち残っている学校を見ると、「元気の良い返事」そして「爽やかなあいさつ」ができる、そんなチームが上位を占めていました。いくら、技術や体力が優れていても、やはり「あいさつ」がしっかりとできないチームは、上位にはほとんど残っていないと感じました。

みなさんも「あいさつ」の大切さは、分かっていると思います。しかし、日頃から当たり前のように、しっかりと気持ちの良い挨拶ができていなければ、それは、「挨拶がしっかりとできている人」ではないと思います。

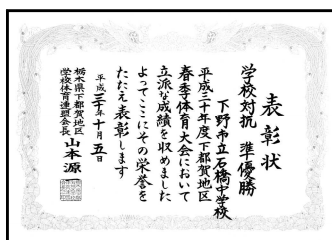
もう一度、自分自身を振り返り、気持ちの良い挨拶、気持ちのこもった挨拶ができているか、振り返ってみてください。そして、さらに「明るい学校」「温かい学校」「安心安全な学校」をめざし、「生徒も先生も、自ら輝く学校」にしていきましょう。

このことを常に意識して、今後の学校生活を送ってほしいと思います。

○下都賀地区学校体育連盟より表彰！

平成30年10月5日（金）に下都賀地区学校体育連盟より、表彰がありました。この表彰は、下都賀地区春季地区大会において、各部の大会の成績の結果をもとに、上位3校が表彰されるものです。石橋中学校は、学校対抗表彰で準優勝の表彰を受けました。

春の大会では、どの部もそれぞれの目標に向かって取り組んだ成果が現れ、このような賞をいただくことができたと思います。



○地区新人大会・県新人大会

地区新人大会が、9月28日(金)～30日(日)に行われました。新チームになり初めての地区大会でしたが、どの部も2年生を中心に最後の最後まで力の限り、全力で試合に臨んでいました。本当によく頑張ったと思います。その結果、10の部活が県新人大会に出場することができました。

10月12日(金)～13日(土)に行われた県新人大会では、柔道部の高山恭吾君が見事個人で優勝を飾ることができました。また、ハンドボール部男子は、惜しくも準優勝でしたが、素晴らしい結果を残すことができました。その他にも、県大会に出場した選手は、それぞれの大会で活躍をしていました。また、吹奏楽部が10月7日(日)「第24回東関東マーチングコンテスト」(会場：ひたちなか市)に参加しました。さすがに、東関東大会ともなるとレベルが高く、どの学校も素晴らしいものでした。結果は、銅賞でしたが、吹奏楽部の生徒は、大勢の観客の中堂々と演奏することができ、素晴らしい出来だったと思います。

保護者の方々には、それぞれの大会で、送迎や応援等大変ありがとうございました。今後もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

尚、大会結果につきましては、学校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

○グリムの森イルミネーション ～準備の様子～ 10月13日(土)～

下野市ウィンター活性化推進協議会が主催する、「第10回グリムの森イルミネーション」の準備が、10月13日(土)から始まりました。石橋中学校からは、科学部と美術部の有志が集い、準備のお手伝いをしました。そのときの様子です。



11月25日(日)の開催に向け、本校生徒が、今後も飾り付け等の準備をお手伝いしながら進めていきます。是非、「グリムの森イルミネーション」に足を運んでいただければと思います。

～家庭学習について～

これからの季節、勉強や読書、そしてスポーツなど、何をやるにしても集中して行うことができると思います。「家庭学習の習慣化」は図られているでしょうか？「毎日決めた時間に自分から」を目標に進めていくことが大切です。

前号では、全国学力・学習状況調査(3年)、とちぎっ子学習状況調査(2年)の結果をお知らせしたところですが、基礎・基本の定着にも課題があると思われます。基礎・基本を定着させるためには、毎日コツコツと継続し、繰り返し学習を行っていくことが大切になります。そこで、復習を行った場合と、そうでない場合について調べてみました。

ドイツの心理学者、ヘルマン・エビングハウスは、記憶がどれくらいのスピードで忘れられていくかを実験し調べました。その結果、20分後に42%、1時間後に56%、1日後に74%、1週間後77%、1ヶ月後79%が忘れてしまうということです。そして、それをグラフ化したのが右上のグラフで「エビングハウスの忘却曲線」といいます。

右下のグラフは、同じエビングハウスの忘却曲線に、定期的な復習をした場合の記憶率を記入したものです。つまり、「定期的に復習をすれば、その記憶は確実に定着していく！」という事が表されています。

(HP：フリー・ジュニアアカデミーより)

このように、学習したことをしっかりと定着させていくためには、繰り返し復習をしていくことが大切です。

そのためには、いかに時間を有効に使い、家庭で学習する時間を確保するかが課題だと思います。当たり前のことですが、一日は24時間。無駄な時間を一日30分過ぎれば、1ヶ月で15時間もの時間になります。

是非この機会に、お子様と時間の有効的な使い方について話し合っただいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

